令和5年度環境保全審議会意見回答書

	基本目標	目標	分類		施策	意見回答	担当課
1	自然との共生	1	自然環境の保全を 推進します。	3	調査し、種類、個体数の増	アライグマの生息数は増加傾向にあるのか。予測は出来ているか。 茨城県のデータによると、アライグマの捕獲数は年々増加しており、市内の生息数も増加傾向 にあると推測しております。そのため、市では箱罠を増やし、積極的に貸し出しをして捕獲を 行います。	産業経済課
1	自然との共生	1	農地を保全し活用を推進します。	11	う、遊休農地を活用した市	つくばみらい市は人口が増えているが、一戸建てであっても庭に十分なスペースがなかったり、センチュリーのようなマンションに住んでいる方が多く、市民農園のような場所が必要だと思う。耕作放棄地をうまく転用して、新しい市民農園に使えたら良いかと思う。市民農園については、令和6年1月現在、ほとんどの区画が利用されている状況ですので、今後、需要の状況により検討していきます。	農業委員会産業経済課
2	循環型社会 の形成	地球規 3 模の環 境対策	低炭素化社会への 推進を図ります。		ホームページ、広報紙での	指標名である「水道使用量」は家庭の水道のみが対象か、それとも企業の水道も含まれているか。 家庭の水道のみが対象であり、事業所や工場等の水道は含まれておりません。 この水道使用量は「1人1日平均使用水量」というものになります。お風呂や洗濯、トイレ・炊事など、家庭内で1人が1日に使用する平均水量となります。	上下水道課
***	参画と協働	環境教2 育の推進	-	1	及び生涯学習課において、 それぞれ環境に関する講座	参-2-1の事業について、参加者数はどれぐらいか。 令和4年度の参加者数合計は87名でした。詳細は下記のとおりとなります。 ・知って役立つ庭木剪定のコツ:10名(伊奈公民館・前期) ・はじめての寄せ植え:10名(伊奈公民館・前期) ・カンカラ三線を手作りしてみよう:6名(谷和原公民館・前期) ・地球にやさしいミツロウラップ:19名(谷和原公民館・前期) ・知って役立つ庭木剪定のコツ:10名(伊奈公民館・後期) ・100円ショップの材料で作れる簡単寄せ植えハンギング:10名(伊奈公民館・後期) ・地球に優しい新聞紙で作るバッグ:12名(谷和原公民館・後期) ・紫式部の苔玉づくり:10名(谷和原公民館・後期)	生涯学習課